

「綱領」第5回講義

現在の日本社会の特質（3）レジメ

2011年6月21日 講師 志位和夫

「大企業・財界」——国内の階級的な支配勢力の中心

前綱領からの改定——経済的支配と政治的支配の生きた関連の分析を可能に
同じ独占資本主義でも「顔つき」が違う——横暴、苛酷、社会的分別をもたない
「大企業・財界」と政治との癒着、政治介入の深さ——欧州諸国と比較して

「ルールなき資本主義」——欧州の到達点、国際条約にてらして考える

雇用——異常な長時間・過密労働、不安定雇用
男女平等——国連機関からの痛烈な批判
社会保障——低すぎる社会保障給付、世界に日本しかない福祉の貧困と異常
中小企業——下請けいじめ、規模別の賃金格差
農業——食料自給率問題、異常な低関税率
環境——地球温暖化問題で「今日の化石賞」の1位
教育——異常な競争教育、高学費、教育の自由への乱暴な介入
アメリカの介入——「誤った方向づけ」「危機と矛盾の大きな要因」
これらすべてによる基盤の弱体化、激しい矛盾と危機

人民のたたかいがルールをつくる

世界の経験を日本のたたかいの力に
19世紀の工場立法、ロシア革命とILO、人民戦線、国際連合、欧州連合
日本にもたたかいで勝ち取ったルールがある
現にあるルールを守らせながら、新しいルールをつくるたたかいを
労働組合の役割、日本共産党の存在と活動の意義